

2017山口県下交流試合（試合説明&ルール変更点）

型の採点方法（個人戦）

- ① 記録表の順番（各階級50音順）に指定型1を行う。
- ② 演武終了後、審判員5名が得点を付ける。得点はこれまで通りの最高点・最低点を除いた3名の総得点数が点数となる。
- ③ Aコート（本部席側）は小学生2・3年の部、小学4年の部が指定型1を行い、Bコート（エレベーター側）では小学5・6年の部、中学・壮年の部が指定型を行う。
- ④ 集計終了後コートを入れ替え、Aコートでは小学5・6年の部、中学・壮年の部が指定型2を行い、Bコート側では小学生2・3年の部、小学4年の部が指定型1を行う。
- ⑤ 指定型1と指定型2の総得点数が高いものから順位が決まる。もし、総得点数が同点であった場合は、直接対決にて赤白の判定で勝敗を決するものとする。

型の採点方法（団体戦）

- ① 力の強弱・・・相手を意識し、明確な目的を持って動作ができているかどうか。
- ② 技の緩急・・・行っている技に対して、趣旨に合わせた動作がなされているかどうか。
- ③ 呼吸の調整・・・団体チームの動作の呼吸の統率がとれているかどうか。
- ④ 運足・・・技から技へ移行する際の立ち方が決まっているかどうか。また型終了時にもとの位置に戻れているかどうか？
- ⑤ 型の熟練度・・・型のミスがないかどうか？また型の動作にズレがないか。
- ⑥ ①～⑤の項目ごとに点数をつける。審判員一人5項目の平均点を得点とし、5人審判員の最高得点と最低得点を除いた3名の合計点が点数となる。指定型と自由型の合計点で順位が決まる。

※ 募集時は団体型少年部と一般部で分けて募集をしましたが、参加チームが少ないため統合とします。採点者は型の難易度での区別を付けず、型の演武内容で採点を行います。

組手の部

- ① 今大会は初心者の為の大会となっております。より多くの経験を積んでいただくため、リーグ戦を基準として行います。小学生・中高生につきましては、リーグ戦においても決着がつくまで延長を闘い勝敗が出るまで試合を行います。ただし**壮年・一般初級の部**におきましては、4試合闘うことと、他の階級に比べ攻撃力・ダメージ蓄積量から判断するに延長まで視野に入れて闘うことは危険が伴いますため、**本選のみしか行いません**。場合によっては僅差の優勝が発生しますがご了承ください。
- ② 試合の採点は、①**ダメージ**②**有効打**③**手数**を重視し、採点が行われます。審判はこの原理に基づき採点を行います。
- ③ 小学2年と小学4年の部はやや人数が多いため、①・②グループにわけリーグ戦を行います。各グループの1位が決勝、2位が3位決定戦にすすみます。
- ④ リーグ戦における順位判断は①**勝敗数**②**一本・技有の数**③**旗の数**④**体重判定**の順番で順位を付けます。